

2016年度 事業年報



 一般財団法人 芙蓉協会
FUYO ASSOCIATION SEIREI NUMAZU

聖隷沼津健康診断センター



発刊にあたって

聖隷沼津健康診断センターをご利用いただきましてありがとうございます。

このたび2016年度(平成28年度)の事業年報を発刊することができました。

2016年度は施設内3階の改修工事を行い、保健指導の強化と効率化を図ることができました。さらに内視鏡室の増室改修を行い、前年に比べ約200件の胃カメラの実績を伸ばすことができました。

また聖隷保健事業部とサーバ共同利用によるデータの一元管理を開始し、これにより聖隷グループの顧客IDの統一、データヘルス活用への一歩を踏み出しました。

これからも皆様に精度の高い健康診断と質の高い保健指導を提供できるように質・サービスの向上と強化に邁進してまいります。

そのような中、おかげさまで2016年度の総受診者数は前年度130,161人を上回る140,760人の皆様にご利用いただきました。

これまで以上に多くの皆様に当センターをご利用いただき、人間ドックをはじめ各種健康診断と保健指導を通して、地域・企業の皆様に心身共にいきいきと過ごしていただくための健康づくりのお役に立てたものと思っております。

これからも皆様方のニーズにお応えできるように、地域の皆様にとって身近な場所で、総合的な健康管理の支援を実現すべく、より一層の努力を続けていく所存でございます。

本年報をご高覧いただき、今後とも皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

聖隷沼津第一クリニック
聖隷沼津健康診断センター
所長 矢部 雅己

目次

発刊にあたって

理念・方針

皆様の権利	1
個人情報保護方針	2
個人情報の利用目的	3
情報セキュリティ方針及び情報セキュリティ目的	4
沿革	5
事業概要	7
事業計画	8
事業報告	10
組織図	11
職員の状況	12
常設会議・委員会	13
フロアマップ	14
機器精度管理・保守管理	15
外部精度管理結果一覧	17
研修・学会参加状況	18
学会発表抄録	20
健康増進講演メニュー	22
健康増進講演活動実績	23
2016 年度を振り返って	24

※付録CD (データ集)

基本理念

私達は、より精度の高い健康診断と、
より質の高い保健指導を通して
地域住民の方が心身共にいきいきと
過ごすための健康づくりを支援します。

施設運営方針

1. 社会的ニーズが高まっている一次予防の強化と事後指導の管理体制を確立して受診される方々の健康寿命を延伸できる保健機関を目指す。
2. 受診者サービスの向上と健診精度の向上を実施し、安心して受診できる体制と安全で安心して働ける職場環境をつくる。
3. 個人情報保護について、管理体制を徹底し情報のセキュリティと受診者のプライバシー保護の徹底に努める。
4. 事業活動を通じて身の回りの無駄をなくし、省エネルギー及び温室効果ガス削減につながる環境活動を推進する。

当施設を利用される皆様の権利について

1. 当施設を利用される方は、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教によって差別されることなく、平等に健康診断を受ける自由と権利を持ちます。
2. 当施設を利用される方は、健康診査によって得られた検査データの全てについて、その内容を知る権利を持ちます。
3. 私共が健康診査を通して知りえた、利用された方々の全ての検査データは如何なる第三者にも秘密を保持します。(但し、労働安全衛生法に定められた検査項目と、利用されるご本人の同意を得た検査データは、その限りではありません)
4. 当施設を利用される方は、健康診査の結果に応じて、医師・保健師・看護師・栄養士・運動トレーナーから、生活習慣、食生活・栄養、運動等の指導・助言を受ける権利をもちます。

2013年4月1日
一般財団法人 芙蓉協会
聖隷沼津第一クリニック
聖隷沼津健康診断センター

個人情報保護方針

当法人では、当法人の医療施設をご利用頂く皆様方に安心して医療を受けて頂くために、安全な医療の提供を第一に考えるとともに、皆様方の個人情報につきましても適切に保護し管理することが重要であると考えています。

そのために当法人では、以下の個人情報保護方針を定め実施します。

1. 個人情報の収集について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報を収集する場合、健診・診療・看護・介護および皆様方の医療にかかわる範囲で行います。その他の目的に個人情報を利用する場合は利用目的を予めお知らせし、ご了解を得た上で実施します。ウェブサイトで個人情報を必要とする場合も同様にいたします。

2. 個人情報の利用および提供について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報の利用につきましては以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えて使用いたしません。

◎ ご本人の了解を得た場合

◎ 個人を識別あるいは特定できない状態に加工①して利用する場合

◎ 法令等により提供を要求された場合

当法人は、法令の定める場合を除き、ご本人の許可なくその情報を第三者②に提供いたしません。

3. 個人情報の適正管理について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、個人情報の漏洩・紛失・破壊・改ざんまたは当法人が所有する個人情報への不正なアクセスを防止することに努めます。

4. 個人情報の確認・修正等について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報について、本人より開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当法人の「診療情報の提供」に従い対応いたします。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、調査し適切に対応いたします。

5. 問い合わせの窓口

当法人の個人情報保護方針に関してのご質問やお問い合わせは以下の窓口でお受けいたします。

聖隷沼津病院「医事課」、聖隷沼津健康診断センター「事務課」

在宅事業部（訪問看護・ヘルパーステーション）「各所長」 法人「事業企画推進事務」

6. 法令等の遵守と個人情報保護の仕組みの改善

当法人は、個人情報の保護に関する日本の法令、厚生労働省のガイドライン、医学関連分野の関連指針、その他の規範を遵守するとともに、上記の各項目の見直しを適宜行い、JISQ 15001の手順に準じ個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります。

平成 25 年 4 月 30 日
一般財団法人 芙蓉協会
理事長 山本 敏博

①単に個人名を消し去ることで匿名化するのではなく、あらゆる方法をもってしても個人を特定できない状態にされていること。

②第三者とは、当法人をご利用いただく皆様方および当法人以外をいい、本来の利用目的に該当しない、またご自身によりその個人情報の利用の同意を得られていない団体または個人をさす。

*この方針は、当法人をご利用いただく皆様方のみならず、当法人職員および当法人と関係のあるすべての個人情報についても上記と同様に取扱いします。

当法人の医療施設をご利用いただく皆様へ 個人情報利用目的について

1. 法人内での利用

1. 利用者の皆様方に提供する医療サービス
2. 医療保険事務
3. 入退院等の病棟管理
4. 会計・経理
5. 医療事故等の報告
6. 利用者の皆様方への医療サービスの向上
7. 法人内医療実習への協力
8. 医療の質の向上を目的とした院内症例研究および統計
9. 精度管理
10. その他、利用者の皆様方に係る管理運営業務

2. 法人外への情報提供としての利用

1. 他の病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等との連携
2. 他の医療機関等からの照会への回答
3. 利用者の皆様方の診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
4. 検体検査業務等の業務委託
5. ご家族等への病状説明
6. 保険事務の委託
7. 審査支払機関へのレセプトの提供
8. 審査支払機関または保険者からの照会への回答
9. 事業者および上部機関等から委託を受けた健康診断に係る、事業者および上部機関等への報告（結果通知・統計等）
10. 医師賠償責任保険等に係る、医療に関する専門の団体や保険会社等への相談または届出等
11. 精度管理事業への提供
12. 医療の質の向上を目的とした症例研究および統計（個人を識別あるいは特定できない状態に加工した上での学会発表資料等への利用）
13. その他、利用者の皆様方への医療保険事務に関する利用

3. その他の利用

1. 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
2. 外部監査機関への情報提供
3. 治験または製造販売後臨床試験に関する調査および支援業務への協力

○ 上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨を担当窓口までお申し出ください。

○ お申し出がないものについては、同意していただけるものとして取り扱わせていただきます。

（平成 25 年 4 月第 3 回改訂）

情報セキュリティ方針及び 情報セキュリティ目的

【情報セキュリティ方針】

聖隷沼津健康診断センター（以下、当センター）は、基本理念として「私たちは、より精度の高い健康診断と、より質の高い保健指導を通して地域住民の方が心身共にいきいきと過ごすための健康づくりを支援します。」を掲げております。

情報処理システムを利用して、顧客受診者皆さまの健診・人間ドックおよび産業保健・保健指導までの一連のサービス（以下、保健事業という）を行っております。

当センターでは、ご利用される顧客・受診者皆さまの安全・安心及び信頼のもとに保健事業を構築し、安定的継続の確保をしております。そのためには、当センター内の情報資産の重要性、特に個人情報及びプライバシーを深く認識し、その情報資産の保護を社会的責務との認識のもとに、適切な情報セキュリティ対策を実施していくことが必要不可欠であると考えております。

そして、適切な情報セキュリティ対策を実施するために情報セキュリティ対策の包括的な規定として、ここに「情報セキュリティ方針」を定め、当センターの情報資産をあらゆる脅威から守るために、経営資源を鑑みて必要な情報セキュリティの確保に最大限取り組んでまいります。

また、当センターは、本方針に基づき「情報セキュリティマネジメントシステム」を構築し、これを保健事業に関わる業務を行う全ての者が確実に実施し、これを遵守することにより、情報セキュリティに努めてまいります。

【情報セキュリティ目的】

当センターは、個人情報保護について、管理体制を徹底し情報のセキュリティと受診者のプライバシー保護の徹底に努めます。

当センター、各部門において情報セキュリティ方針に基づき、情報セキュリティ目的を定め、ISMSを実践してまいります。

また、プロセスにおける要求事項、アセスメント、対応結果を考慮し、保健事業サービスに関わる業務を行う全ての者が取り扱う情報資産、特に個人情報が、漏洩、紛失、盗聴、改ざん又は誤用されないように、機密性・完全性・可用性を確保する体系的なリスクアセスメントに基づいた管理策を策定、実施いたします。

【情報セキュリティに関する法令等の遵守】

当センターは、保健事業における情報セキュリティに適用される法令、各種規範・ガイドラインを特定し、これらを遵守いたします。

【情報セキュリティ体制の強化】

当センターは、すべての従業員に対し、計画的に教育・研修を実施し、当方針を周知徹底、実施するとともに、「情報セキュリティマネジメントシステム」を継続的に見直し、情報セキュリティ体制を強化、有効に機能するよう努めます。

2014年11月1日

聖隷沼津健康診断センター
所長 矢部 雅己

沿革

1949	昭和 24 年	3 月	財団法人芙蓉協会設立登記
1950	25 年	7 月	財団法人芙蓉病院開設
1957	32 年	2 月	財団法人緑町病院と名称変更
1975	50 年	9 月	簡易保険人間ドック検診開始
1976	51 年	2 月	外来人間ドック検診開始
		4 月	日本病院会「短期人間ドック(1泊2日) 優良施設」指定
1981	56 年	6 月	力石 務 初代所長就任
		10 月	聖隷沼津病院と名称変更
1986	61 年	5 月	中央労働災害防止協会健康診断機関名簿登載
		9 月	日本総合健診医学会入会
1989	平成 元年	3 月	婦人科検診車配備
1991	3 年	9 月	健康診断センター落成
1992	4 年	6 月	日本病院会「自動化健診(日帰り) 優良施設」指定
1995	7 年	3 月	胸部 X 線検診車配備
		4 月	骨密度測定装置設置
		6 月	聖隷沼津第一クリニック開設(健康診断センターの診療所化 許可病床 8 床)
1996	8 年	2 月	胃腸 X 線検診車配備
			積 惟貞 2 代目所長就任
1997	9 年	4 月	胃内視鏡室設置(ドック追加検査として胃内視鏡検査を開始)
1998	10 年	4 月	脳ドック開始
		4 月	胃腸 X 線検診車・胸部 X 線検診車各 1 台増車
		10 月	栗原 尚人 初代事務長就任
1999	11 年	3 月	増築棟落成(アスレチックルーム・各診察室(乳がん検診・子宮がん検診))
		4 月	政府管掌健康保険健診機関」指定
		4 月	奥村 一之 3 代目所長就任
		10 月	中島 容一郎 4 代目所長就任
2000	12 年	1 月	胸部 X 線検診車(直接・間接撮影兼用) 配備
2001	13 年	3 月	福田 崇典 5 代目所長就任
2004	16 年	4 月	力石 務 6 代目所長就任
2005	17 年	4 月	伊藤 孝 7 代目所長就任
			飯尾 治利 2 代目事務長就任
2006	18 年	1 月	X 線 TV 装置 2 台設置
		3 月	マンモグラフィ撮影装置新規導入
		12 月	禁煙外来開始
2007	19 年	1 月	日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定
		4 月	新健診システム導入 (1 日ドックにおける「リアルタイムドック」方式を開始)
		9 月	「臨床研修協力施設」指定
		12 月	8 病床返還
2008	20 年	3 月	自動身長計付体組成計更新
		4 月	出張健診用閾値検査用オージオメータ 2 台新規導入
		5 月	骨塩量測定装置更新
		5 月	オージオメーター・オージオボックス機種更新
		9 月	伊豆市婦人科出張検診よりマンモグラフィ検診車配備
2009	21 年	2 月	出張検診用無散瞳眼底カメラ購入
		2 月	電子スパイロメーター機種更新
		5 月	胸部 X 線一般撮影装置更新 (施設内における「デュアルエネルギーサブトラクション法」による胸部画像撮影・診断を開始)
		6 月	全国労働衛生団体連合会「労働衛生サービス機能評価」認定
		9 月	庄司産業 1F を健診センター事務所に改修 事務課一部・運営管理課移転
		10 月	ジャパン・マンモグラフィ・サンデー賛同医療機関として初参加
		12 月	健診センター施設内改修(内視鏡室・レディースコーナー・更衣室・アスレチックルーム)

2010	22年	2月 6月 7月 8月	I S M S (I S O / I E C 27001 : 2005 J I S Q 27001 : 2006) 認証取得 子宮頸がん予防ワクチン接種開始 医用画像配信システム (PACS) 新規導入 胸部・胃部 X 線検診車 (I.I.D.R) 車 2 台増車
2011	23年	1月 1月 2月 3月 4月 5月 7月 8月 8月 10月	電子内視鏡システム 1 台機種更新 無散瞳眼底カメラ更新 日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定更新 P E T - C T ドック開始 (国際医療福祉大学熱海病院と提携) 及川 直之 3 代目事務長就任 M R I 撮影装置 (1.5 T) 更新 (聖隷沼津病院) ※脳検査時使用 出張健診用閾値検査用オージオメータ 2 台新規導入 検診車新駐車場完成 胸部 X 線検診車 1 台増車 出張健診用心電計 1 台増設
2012	24年	2月 3月 3月 3月 3月 9月 10月 11月	全国労働衛生団体連合会「労働衛生サービス機能評価」認定更新 超音波診断装置 1 台更新 伊藤 孝 センター長就任 矢部 雅巳 8 代目所長就任 出張健診用超音波診断装置 2 台新規購入 特定保健指導品質管理マニュアル運用開始 胸部検診車 2 台デジタル化 出張健診用心電図解析装置 1 台新規購入
2013	25年	1月 2月 4月 5月 7月 12月 12月	I S M S (I S O / I E C 27001 : 2005 J I S Q 27001 : 2006) 認証更新 電子内視鏡システム 1 台機種更新 一般財団法人へ移行 「一般財団法人 芙蓉協会」に名称変更 超音波診断装置 1 台更新 胸部検診車 1 台デジタル化 (胸部検診車全車両デジタル化完了) 超音波診断装置 1 台更新 超音波診断装置 (婦人科用) 1 台更新
2014	26年	1月 1月 1月 6月	部門システム更新 (W i n d o w s 7 対応) 画像システム更新 心電図システム更新 婦人科検診車 (子宮がん検診) 新規導入
2015	27年	2月 3月 4月 4月 6月 12月	I S M S (I S O / I E C 27001 : 2013 J I S Q 27001 : 2014) 移行再認証取得 超音波診断装置 1 台更新 健診センター施設内 2F 改修 (胃部 X 線装置増設・マンモグラフィ装置移設・診察検査室増設・読影室) 胃部 X 線装置 (施設内) 1 台増設 (3 台体制運用開始) 自動採血管準備装置 (施設内) 機種更新 ストレスチェック制度開始
2016	28年	2月 3月 4月 4月 4月 4月	日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定更新 出張健診用心電図解析装置 1 台更新 笠原 典彦 4 代目事務長就任 聖隷保健事業部とサーバー共同利用によるデータの一元管理 健診センター施設内 3F 改修 (区域分け・配置再編成) 胃部 X 線装置 (施設内) 内視鏡改修
2017	29年	2月 3月 3月	健康経営優良法人 2017 ~ ホワイト 500 (大規模法人部門) ~ 認定 出張健診用心電図解析装置 1 台更新 J K A 補助事業により胃胸部併用デジタル検診車 1 台 増車

事業概要

名称

一般財団法人芙蓉協会 聖隷沼津第一クリニック 聖隷沼津健康診断センター

所在地

〒410-8580 静岡県沼津市本字下一丁田895-1

電話：055(962)9882 / FAX：055(952)1019

認定

日本人間ドック学会

【人間ドック健診施設機能評価認定施設《認定番号140》】(2016.4.1～2021.3.31)

全国労働衛生団体連合会

【労働衛生サービス機能評価認定施設《認定番号 第145号》】(2015.6.1～2018.5.31)

情報セキュリティマネジメントシステム

【JIS Q 27001：2014 (ISO/IEC27001：2013) 認証取得】(2015.2.24～2018.3.23)

【人間ドック健診専門医研修施設《認定番号 第235号》】(2015.4.1～2020.3.31)

【マンモグラフィ検診施設画像認定施設《第4715号》】(2014.4.1～2017.3.31)

全国健康保険協会管掌健康保険【生活習慣病予防健診事業委託機関】

保険医療機関指定《機関コード2211110438》

特定健康診査・特定保健指導機関指定《機関コード2211110438》

労災保険二次健診等給付医療機関《機関コード2231069》

中央労働災害防止協会【安全衛生サービス(特殊健康診断等)名簿登載機関《登載番号41-22-09》】

全国労働衛生団体連合会総合精度管理事業参加機関《機関コード22006》

臨床研修協力施設《施設番号076538》

事業内容

1日人間ドック・2日人間ドック・脳ドック・PET-CTドック

一般健診(生活習慣病健診・定期健康診断・雇入時の健康診断・特殊健康診断 他)

婦人科検診・各種がん検診(市町村・事業所 他)

施設

健診センター：延床面積(鉄筋コンクリート 3階建)1672.81㎡

庄司事務所：延床面積(鉄骨造)142.86㎡

検診車

胸部検診車3台 胃部・胸部検診車3台 婦人科検診車1台

2016(平成28)年度 聖隷沼津健康診断センター 事業計画

2015年度は、住民検診の実施期間が10月までとなったため、施設内の改修を行い胃部レントゲン装置を増設し予約枠を増やすことにより、昨年実績に対し7.2%（1920万円）増に結びつけることができた。また労災二次健診においても頸動脈エコーを病院検査室の協力を得て26%（150万円）増につながった。施設外健診においても三島新聞堂等の新規事業所も増え施設内・外共に順調に業績を上げることができた。また、健診システムの更新及びデータ移管も保健事業部との連携をはかり順調に進めることができている。

2016年度は、健診システムが保健事業部のシステムを共同利用することで運用の変更が余儀なくされるがスムーズに導入し効率化を図りたい。施設内健診においては、受診者の受入れが限界に達しつつあるため、2015年度と同様に予約枠を柔軟にコントロールすることと、改修工事を行い内視鏡室を広げ増収に結びつけ、またスタッフの動線を良くし効率化を図りたい。

施設外健診においては、胃部検診車2台体制では配車が困難なため、2015年度にJKAに胃・胸部併用の検診車の助成申請を行っており1台増車し新規企業の要望に答え収益増につなげたい。また昨年の12月から労働安全衛生法の一部改正によりストレスチェック制度が開始され安定した運用が行えるために体制の見直しを図り、産業保健活動に力を入れ企業との連携を深めるための体制作りを構築したい。

高額医療機器の更新があるため聖隷沼津病院と連携を図り無駄のない設備投資を計画的におこない、新棟又は増改築の素案作りも進めたい。人事評価制度の流れを構築し人材育成に結び付けたい。

また聖隷沼津病院との連携をよりいっそう深めることにより、他の健診機関との差別化をはかり芙蓉協会としての特色を活かし地域に貢献していきたい。

【理念】 「私達は、より精度の高い健康診断と、より質の高い保健指導を通して地域住民の方が心身共にいきいきと過ごすための健康づくりを支援します」

【運営方針】

1. 私達は社会的ニーズが高まっている一次予防の強化と事後指導の管理体制を確立して受診される方々の健康寿命を延伸できる保健機関を目指す
2. 私達は受診者サービスの向上と健診精度の向上を実施し、安心して受診できる体制と安全で安心して働ける職場環境をつくる
3. 私達は個人情報保護について、管理体制を徹底し情報のセキュリティと受診者のプライバシー保護の徹底に努める
4. 私達は事業活動を通じて身の回りの無駄をなくし、省エネルギー及び温室効果ガス削減につながる環境活動を推進する

【事業計画】

1. 利用者様の目線に立った質の高い健診サービスの提供
 - 1-1 ストレスチェック制度の運用の構築及び実施
 - 1-2 ニーズにあった新規オプションの検討及び運用開始
 - 1-3 IA レポートの情報共有及び分析リスクマネジメントの強化を図る
 - 1-4 ホームページとITを積極的に活用する

1-5 人間ドック・一般健診及び内視鏡予約枠の柔軟な対応

1-6 地域企業との連携による新しいプランの構築

2. 経営基盤の安定と連携の強化

2-1 医師確保に向けて求人広報活動を強化する

2-2 第三者機能評価・情報セキュリティ等を更に構築し経営に活かす

2-3 胃・胸部併用検診車を増車し出張健診の拡大を図る

2-4 施設内改修をおこない増収につなげる

2-5 企業に対し産業保健パートナーとしての体制を構築する

2-6 聖隷沼津病院との更なる連携の構築

2-7 健診データ移管に伴い聖隷保健事業部との連携を更に強化する

3. 人材育成と教育体制の充実

3-1 人事評価制度を構築し人材育成をはかる

3-2 各課OJTを含めた教育プログラムの更なる強化をはかる

3-3 専門性を高めるため外部研修・学会等へ積極的に参加、専門資格取得を支援する

4. 健康経営の実現

4-1 各課の役割を見直し適正な人材の配置を行う

4-2 ワークライフバランスの推進、スタッフの働きやすい環境づくりに取り組む

4-3 健康経営を目指し職員の健康管理に取り組む

(人間ドック・精密検査受診率100%、残業時間短縮)

4-4 職員スペース(休憩室等)の環境整備を充実させる

5. 地球環境に配慮した活動に対し積極的に取り組む

5-1 業務の効率化を図り省資源・省エネルギー(紙・電気・ガス等)に取り組む

5-2 リサイクルを推進し廃棄物の削減を図り環境保全に努める

【経営目標】

総収益	1,555,280千円
年間延受診者数	127,810人
1人あたり単価	12,700円
平均職員数(正職員・準職員)	107名

<内訳>

施設内	受診者数	施設外	受診者数
人間ドック	11,460人		
一般健診	40,630人	一般健診	33,700人
婦人科健診	18,920人	婦人科健診	6,750人
外来	5,780人		
その他	7,300人	その他	3,270人
計	84,090人	計	43,720人
施設内収益計	1,223,200千円	施設外収益計	319,100千円

2016(平成28)年度 聖隷沼津健康診断センター 事業報告

2016年度は、聖隷保健事業部とサーバ共同利用によるデータの一元管理を開始した。これにより聖隷保健事業の顧客IDの統一、データヘルス活用への一步を踏み出した。施設内においては、① 顧客視線を意識した舞台裏を見せない区域分け ② 保健指導強化と効率化のための3階配置再編成 ③ 運動指導の充実 ④ 胃カメラ増と午後活用のために内視鏡増室の改修を行った。内視鏡は改修工事期間2週間休診としたが、前年よりも186件増の3,931件の実績となった。

施設外においては、日本大学職員健診・平安・万城食品等の新規事業所を増やすことができた。

新しく始まったストレスチェックも26社、6,865件の実績となった。

組織として、課を超えた傾斜配置により効率的な運用を行うことができ、施設内・外共に順調に業績を伸ばすことができた。

センター全体では、2015、2016と連続して大きく実績を伸ばすことができ、事業規模としては過去最大の16億円台となった。受診者数で前年対比及び予算に対し約9%増、収入では対前年比で3.3%(5,090万円)増、対予算で3.6%(5,580万円)増となり、税引前当期純利益としては約2億円の成績で終えることができた。

2017年度の飛躍に向けての準備も、1月にはISMSの維持審査、2月には、法人として健康経営優良法人ホワイト500の認定、3月にはJKA補助事業により胃胸部併用デジタル検診車を1台増車することできた。

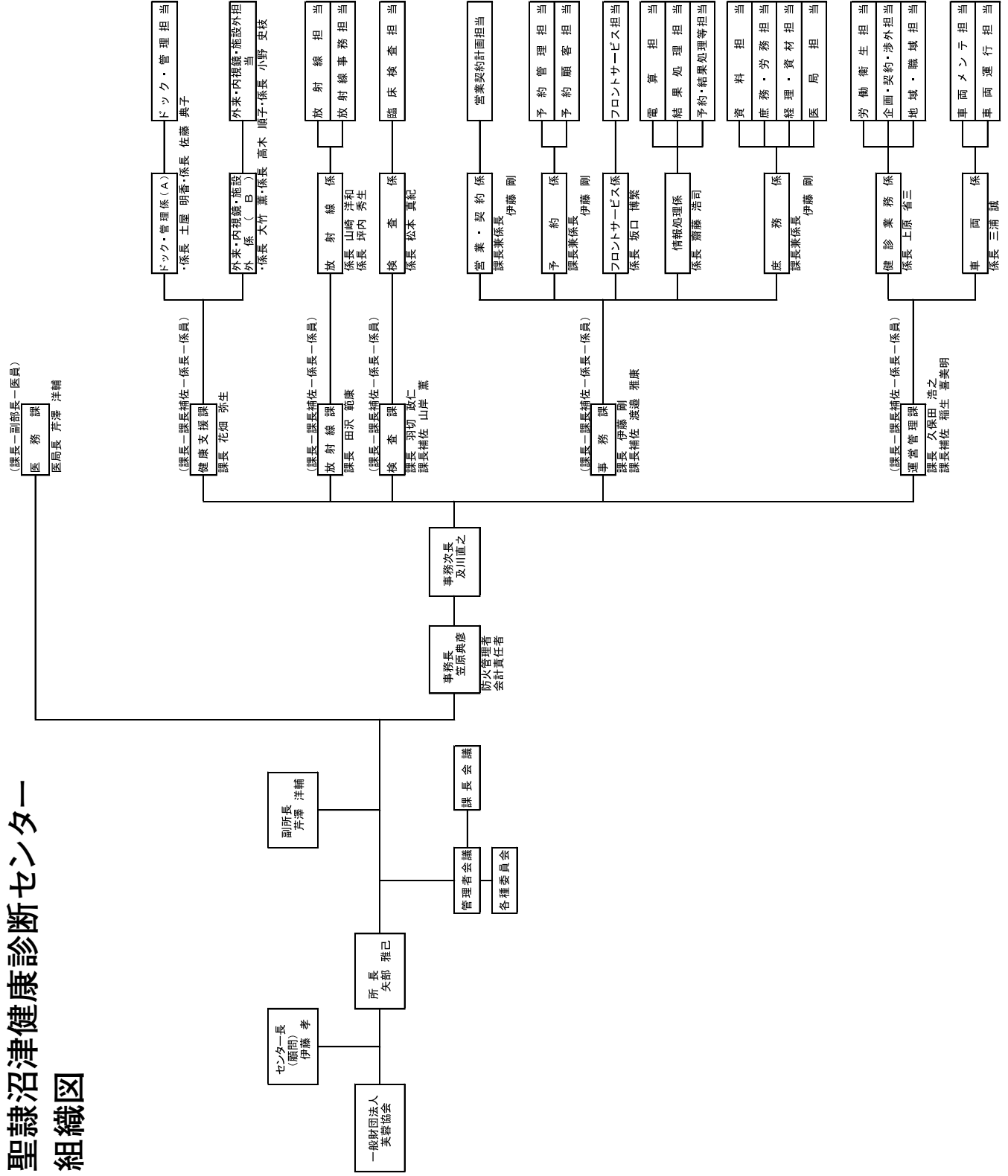
	前年実績	予算	実績	対予算差	対前年差
施設内受診者数(人)	80,781	78,307	89,356	8,575	11,049
施設外受診者数(人)	43,711	43,720	46,357	2,646	2,637
外来受診者数(人)	5,669	5,780	5,047	-622	-733
単価(円)	11,886	12,067	11,354	-532	-713

【主な行事】

行事内容	実施日
午後 胃内視鏡検査開始	8月1日
ジャパン・マンモグラフィ・サンデー	10月16日
地震(津波)想定防災訓練	11月28日
感染対策セミナー	12月1日
ISMS教育セミナー	1月12日
安全運転講習	1月26日
ISMS(ISO/IEC 27001:2013)維持審査	1月26日~27日
火災想定防災訓練	2月17日
胃・胸部併用検診車(23号車)新規導入	3月1日

聖隷沼津健康診断センター 組織図

作成日:平成19年 4月1日
改訂日:平成28年 4月1日



職員の状況（職種別職員数）

2016年4月1日現在

雇用形態		人数	小計	備考	
医 務 課	常勤（正職員）	8人	21人	人間ドック専門医	3人
	非常勤	13人		人間ドック認定医	1人
				日本内科学会	2人
				日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	1人
				日本消化器病学会 消化器病専門医	1人
				日本医師会認定産業医	6人
				マンモグラフィ読影認定医	5人
				日本外科学会 外科専門医	3人
				日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	1人
				日本周産期・新生児医学会	1人
				日本循環器学会 循環器専門医	1人
				日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	1人
				日本透析医学会 透析専門医	1人
				日本医学放射線学会 放射線診断専門医	1人
健康支援課	常勤（正職員）	33人	40人	保健師	17人
	常勤（準職員）	1人		看護師（准看護師含む）	16人
	アルバイト	1人		管理栄養士	2人
	委託	3人		健康運動指導士	1人
	派遣	2人		第一種衛生管理者	8人
				人間ドックアドバイザー	7人
				労働衛生コンサルタント	1人
				産業看護師	1人
				産業カウンセラー	1人
検 査 課	常勤（正職員）	31人	36人	超音波認定技師（消化器）	8人
	常勤（準職員）	2人		超音波認定技師（循環器）	3人
	非常勤（準職員）	1人		超音波認定技師（泌尿器）	7人
	派遣	2人		認定血液検査技師	2人
				ISO 9000/2008 外部審査員補	1人
放 射 線 課	常勤（正職員）	7人	14人	胃がん検診専門技師	4人
	委託	7人		マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	2人
運 営 管 理 課	常勤（正職員）	10人	14人	第一種衛生管理者	2人
	委託	4人		大型自動車免許	10人
事 務 課	常勤（正職員）	26人	43人	ISMS 審査員補	1人
	常勤（準職員）	11人		第一種衛生管理者	6人
	アルバイト	2人		大型自動車免許（2種）	1人
	委託	4人		ピンクリボンアドバイザー（初級）	3人
				ピンクリボンアドバイザー（中級）	1人
合計		168人			

2016(平成28)年度 聖隷沼津健康診断センター常設会議・委員会

平成28年5月1日付
聖隷沼津健康診断センター
所長 矢部 雅己
出席者(◎司会△事務局)

下表のとおり、各種委員会委員を任命します。

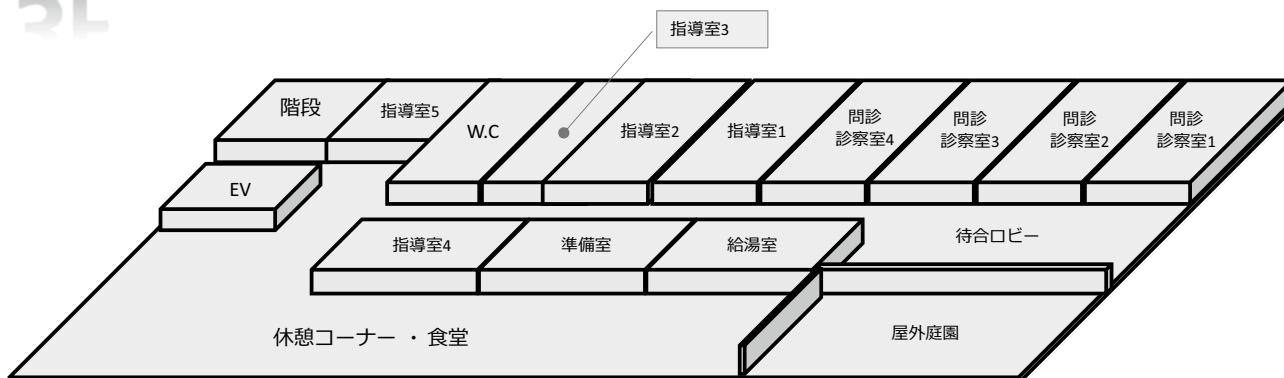
常設会議	開催日	出席者(◎司会△事務局)
管理会議	第3月曜日 16:00~	◎ 矢部 雅己 ○ 笠原 典彦 △ 川直之 伊藤 孝 芹澤 洋輔 伊藤 剛 花畑 弥生 羽切 政仁 田沢 範康 久保田 浩之 稲生 喜美明 渡邊 雅康 山岸 薫
施設外検診運営会議	第1金曜日 16:00~	◎ 久保田 浩之 ○ 小野 史枝 △ 三浦 誠 △ 上原 省三 加藤 千佳子 石井 麻美 山岸 薫 松本 真紀 野木 三鈴 佐野 充 平野 裕子 稲生 喜美明 秋山 守 神田 清隆 松本 芳幸 菊地 麻紀 佐藤 桃子 福島 健太
		①施設外健診の効率的運営の企画・実施 ②受診サービス向上の企画・実施 ③健診予定の連絡
連絡会	開催日	出席者(◎司会△事務局)
全体連絡会	毎月1日(土除く) 16:00~	全員
医局連絡会議	第4月曜日 15:00~	医局員 全員
課長連絡会	第2月曜日 16:00~	◎ 笠原 典彦 △ 川直之 菊池 保治 伊藤 剛 花畑 弥生 田沢 範康 羽切 政仁 久保田 浩之 稲生 喜美明 渡邊 雅康 山岸 薫
		①管理会議検討事項事前検証 ②各委員会からの上申事項内容検討対応
営業情報連絡会	第4木曜日 16:00~	◎ 笠原 典彦 ○ 伊藤 剛 △ 岩瀬 雅美 及 川直之 花畑 弥生 羽切 政仁 田沢 範康 久保田 浩之 稲生 喜美明 渡邊 雅康 山岸 薫 佐藤 典子 山崎 洋和 勝呂 美咲
		①施設内外の健診・指導等の実施・予約状況報告 ②新規契約団体・新規事業の企画 ③健診実施状況に対する傾向と対策 ④受診者リピーター率の報告・対策
委員会名	開催日	委員構成(◎委員長・○副委員長△事務局)
防災委員会 (消防法 第8条)	第2火曜日 16:00~	◎ 矢部 雅己 ○ 稲生 喜美明 △ 坂口 博繁 (防火管理者笠原 典彦) (本部施設管理課) 土屋 明香 平方 教子 荻島 のぞ美 吉村 香名子 澤田 香菜 藤池 悟 望月 麻衣 三浦 誠 福島 健太
		①防災訓練の開催 ②防災設備・意識の向上対応
安全衛生委員会 (労働安全衛生法 第19条)	第1火曜日 16:00~	◎ 田沢 範康 ○ 花畑 弥生 △ 松本 真紀 (産業医)伊藤 孝 (衛生管理者)諏訪 良子 (本部総務課) 大竹 薫 辻村 裕美 平野 裕子 伊藤 輝美 神田 清隆
		健康経営の実現(ステージI:基盤整備) ①安全衛生管理活動 ②健康増進活動(スマートライフプロジェクト) ③感染症対策
リスクマネジメント委員会 (聖隷沼津第一クリニック 医療安全対策指針)	第2木曜日 16:00~	◎ 花畑 弥生 ○ 久保田 浩之 △ 山崎 洋和 矢部 雅己 芹澤 洋輔 笠原 典彦 及 川直之 羽切 政仁 田沢 範康 伊藤 剛 稲生 喜美明 渡邊 雅康 山岸 薫 佐藤 典子 坪内 秀生 坂口 博繁 齋藤 浩司 秋山 守
		①インシデントレポートの分析、対応 ②医療事故防止のための医療安全対策会議を含む ③プロセスアセスメントシートとの連動検討 ④医療に係る安全管理のための研修2回/年実施
ISMS情報セキュリティ委員会 (ISO/IEC27001:2013 5.3)	第2木曜日 16:30~	◎ 笠原 典彦 ○ 羽切 政仁 △ 秋山 守 矢部 雅己 芹澤 洋輔 及 川直之 花畑 弥生 田沢 範康 久保田 浩之 伊藤 剛 稲生 喜美明 渡邊 雅康 山岸 薫 佐藤 典子 山崎 洋和 坪内 秀生 坂口 博繁 齋藤 浩司
		①ISMS情報セキュリティの運用の実施 ②ISMS関連・個人情報関連勉強会の実施
認定更新・年報委員会	第4火曜日 16:00~	◎ 伊藤 剛 ○ 土屋 明香 △ 坪内 秀生 △ 齋藤 浩司 矢部 雅己 内山 美枝 小野 智美 原田 朋香 辻村 裕美 野木 三鈴 佐野 充 門内 恵 坂口 博繁 勝呂 美咲 松田 久美 菊地 麻紀
		①第三者機能評価認定及び精度管理の品質評価のチェック機能的活動を三ヶ月に1回チェックする ②第三者機能評価及びISMS等内部監査の実施 ③年報の準備及び作成・管理
CS(利用者満足)・ ES(職員満足) 向上委員会	第1木曜日 16:00~	◎ 笠原 典彦 ○ 山岸 薫 △ 坂口 博繁 △ 坪内 秀生 尼子 良久 大竹 薫 高木 順子 土屋 明香 松本 真紀 山崎 洋和 齋藤 浩司 三浦 誠 上原 省三
		①利用者様満足度(CS)向上のためのアンケート調査の継続・改善 ②施設内・外の徹底的な接客対応を企画・実施 ③建物内外、車両等の美化活動(七夕飾り・クリスマス飾りなど) ④意見投書等に対する運用上の検討及び統計・分析・返答書の対応 ⑤各職場からの問題点に対する検討・対応 ⑥エコ活動推進対策
研修広報委員会	第3木曜日 16:00~	◎ 渡邊 雅康 ○ 高木 順子 △ 齋藤 浩司 加藤 千佳子 荒浪 淑子 吉村 香名子 澤田 香菜 坪内 秀生 門内 恵 岩崎 愛 松本 芳幸 佐藤 桃子
		①全体会の各職場の研修・勉強会の企画・実施(年間の予定作成・実施)勉強会等の出席管理 ②施設内外研修の対応 ③ホームページ・メディネットの運用 ④掲示物等に関する運用・管理 ⑤健診センターのパンフレット等の内容検証
検査適正委員会	奇数月 第2月曜日 16:30~	◎ 羽切 政仁 ○ 花畑 弥生 △ 井原 綾那 谷脇 貴博 笠原 典彦 及 川直之 田沢 範康 伊藤 剛 久保田 浩之 稲生 喜美明 渡邊 雅康 山岸 薫
		①健診項目の基準値・判定基準等の管理および検診 ②精度管理実施報告
購入委員会	第4火曜日 15:00~	◎ 笠原 典彦 ○ 及 川直之 ○ 木下 操 △ 近藤 篤史 神谷 知弘
特定保健指導品質管理委員会	第2金曜日 16:00~	◎ 佐藤 典子 ○ 土屋 明香 △ 伊藤 剛 花畑 弥生 平方 教子 原田 朋香 渡邊 麻莉子
		①特定保健指導サービスの品質管理に関する目標・計画・評価・その他の事項を審議する

※ 書記及び事務局は、会議又は委員会終了後1週間以内に事務課長まで議事録を提出すること
 ※ 各委員会は、1時間以内で終了するよう運用すること
 ※ 開催日時に関しては、各委員会ごと検討し変更のある場合には、各職場長及び事務局へ報告すること
 ※ 年間の開催予定日を作成し議事につけること
 ※ 木曜日に開催予定の場合は、トコダックがあるので場所を庄司事務所2階食堂にて開催すること

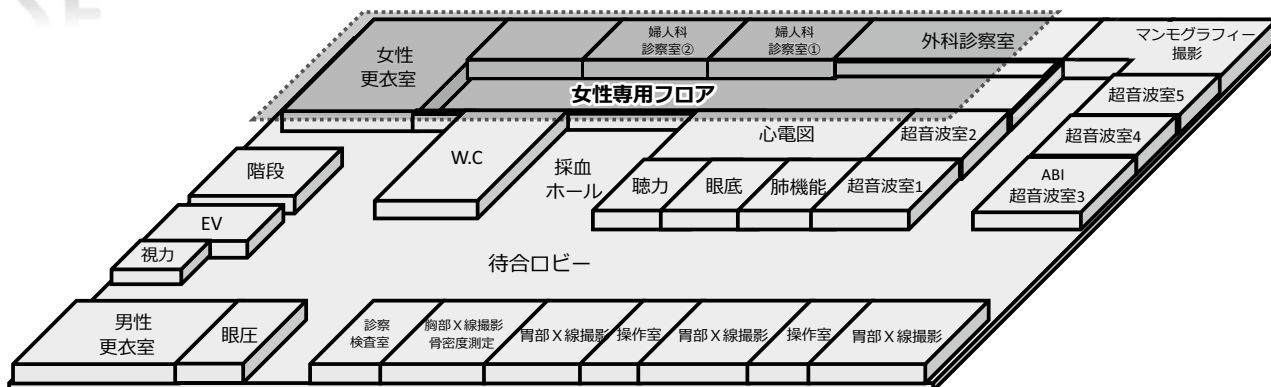
フロアマップ

2016年8月1日現在

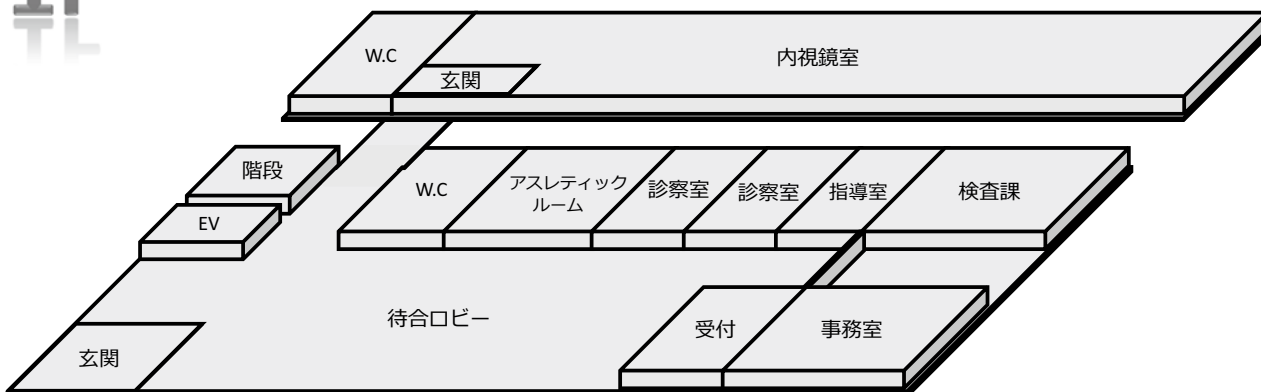
3F



2F



1F



1. 機器精度管理・保守管理

施設内機器 (1)

機器・装置名	機種	保守・管理計画	担当者
胸部レントゲン X 線発生装置	Definium8000	始業前日常点検	〔部内担当者〕
		週 1 回の QAP 実施	〔部内担当者〕
		年 2 回保守点検	〔GE 横河〕
胃部レントゲン X 線 TV 透視装置	MEDIX-600FPD (2台) E X A V I S T A	始業前日常点検	〔部内担当者〕
		年 2 回保守点検及びフラットパネルの精度管理実施	〔日立メディコ〕
レーザーイメージャー	DRYPRO MODEL793	自動キャリブレーションによる補正 年 1 回保守点検	〔コニカミノルタ〕
マンモグラフィ撮影装置	SenographeDS	始業前日常点検	〔部内担当者〕
		年 2 回保守点検及びフラットパネルの精度管理	〔GE 横河〕
PACS	ftServer2600	リモートによる保守管理	〔PSP〕
レポートシステム	Thomas	リモートによる保守管理	〔アイテック阪急阪神〕
骨密度検査装置	DCS-600-EX III	自動キャリブレーションによる補正	〔アロカ〕
全自動尿分析装置	US3100R plus	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔栄研化学〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
便潜血用全自動免疫化学分析装置	OC-SENSOR DIANA	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔栄研化学〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
生化学自動分析装置	AU -2700	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔ベックマン・コールター〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
多項目自動血球分析装置	X E -2100	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔シスメックス〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
全自動化学発光免疫測定装置	ARCHITECT アナライザー i2000SR 2 台連結タイプ (i4000SR)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔アボットジャパン〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
自動グリコヘモグロビン分析計	H L C -723 G 11	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔東ソー〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
全自動血液凝固分析装置	coapresta2000	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
自動身長計付体組成計	TANITA DC-250	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔TANITA〕
		静岡県計量協会による検定	
自動採血管準備装置	BC・ROBO-8000RFID	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
心電図解析装置	CardioStar FCP7541	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔フクダ電子〕
オージオメータ	RION AA-79	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔RION〕
無散瞳眼底カメラ	CR- 1 MARK II	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔c a n o n〕
超音波診断装置	HIVISION Preirus HIVISION Avius LOGIQ S7 Prosound SSD-4000SV	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
電子スパイロメータ	スパイロメータ HI-205	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔日本光電〕
動脈硬化検査装置	form - Exceed(ABI/PWV)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
コンパクト視力計	CA-1000	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
眼圧計	FullAutotonometerTX-F	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
定屈折近点計	D A C O M O	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕

施設内機器 (2)

機器・装置名	機種	保守・管理計画	担当者
自動体外式除細動器	HEARTSTART	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	DEFIBRILLATOR		
	PHILIPS		
超音波診断装置 (乳房)	HIVISIONAvlusHA500	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
超音波診断装置 (婦人科)	F-37	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
上部消化管ビデオスコープ	GIF-XP260N (経鼻用)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	GIF-XP290N (経鼻用)		
	GIF-PQ260 (経口用)	修理保守	〔オリンパス・協和〕
	GIF-H290 (経口用)		
下部消化管ビデオスコープ	CF-240I	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	PCF-Q260AZI	修理保守	〔オリンパス・協和〕
	PCF-H290I		
内視鏡洗浄器	OER-3	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
超音波洗浄器	ENDOSONIC	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
高音波手術装置	ESG-100	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
吸引器	KV-5	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
モニター	OEV261H	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
画像転送器	IT-1	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
システムセンター	CV-260SL	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	CV-290 (2台)	修理保守	〔オリンパス・協和〕
光源装置	CLV-260SL	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	CLV-290SL (2台)	修理保守	〔オリンパス・協和〕

施設外機器

胸部検診車 1号車	RadnextCS	始業前日常点検	〔部内担当者〕
胸部検診車 2号車	RadnextCS	始業前日常点検	〔部内担当者〕
胸部検診車 3号車	RadnextCS	始業前日常点検	〔部内担当者〕
胸部X線デジタル撮影装置	CXDI-401G COMPACT (胸部検診車 1号車・3号車)	始業前日常点検	〔部内担当者〕
	CXDI-701G Wireless (胸部検診車 2号車)	始業前日常点検	〔部内担当者〕
胸部胃部併設検診車 21号車	DHM-153SX (胸部)	始業前日常点検	〔部内担当者〕
	TU-MA5plus (胃部)		
胸部胃部併設検診車 22号車	DHM-153SX (胸部)	始業前日常点検	〔部内担当者〕
	TU-MA5plus (胃部)		
心電図解析装置	CaedioStar FCP7411	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	CaedioStar FCP7541		
	CardioStar FCP8600		
オージオメータ	RION AA-56	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	RION AA-58		
無散瞳眼底カメラ	TRC-NW300	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
超音波診断装置	LOGIQe expert	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
自動身長体重計	AD-6225A	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		検定 (2年に1回)	〔静岡県計量協会〕
体重計	AD-6122	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		検定 (2年に1回)	〔静岡県計量協会〕
体脂肪・体重計	DC-320	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		検定 (2年に1回)	〔静岡県計量協会〕
デジタル身長計	AD-6227	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	AD-6223		
コンパクト視力計	CA-1000	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
	NS-1000		

2. 外部精度管理結果一覧

	精度管理名称	主催	評価			
5月	第33回静岡県臨床検査精度管理調査	静岡県医師会	良好			
6月	平成28年度日臨技精度管理調査	日本臨床検査技師会	項目・評価	A+B	C	D
			臨床化学	60	0	0
			免疫血清	22	0	0
			微生物	11	0	0
			血液	27	0	0
			細胞	15	0	0
			一般	19	0	0
			生理	18	0	0
			輸血	32	0	0
			病理	15	0	0
	計	219	0	0		
10月	平成28年度全衛連エックス線写真精度管理調査	全国労働衛生団体連合会	胸部X線画像 評価 A			
	第50回日本医師会臨床検査精度管理調査	日本医師会	評価点数 = 606/610点			
2月	第25回全衛連臨床検査精度管理調査	全国労働衛生団体連合会	総合評価 = A (点)			

3. 研修・学会参加状況(2016年度)

	研修・学会名	部署	参加者
4月	第116回日本外科学会定期学術集会	健診医務課	阿部 幸洋
	第113回日本内科学会総会	健診医務課	菊池 保治
	第102回日本消化器病学会総会	健診医務課	菊池 保治
	日本心エコー図学会	健診医務課	原田 雅子
	日本泌尿器科学会総会	健診医務課	芹澤 洋輔
	日本産科婦人科学会第68回学術集会	健診医務課	須床 和恵
5月	健康運動指導士 養成講習会	健康支援課	江藤 洋佑
	内視鏡学会セミナー	健診医務課	菊池 保治
	I SMS 審査員CPD5時間コース	健診センター事務長	笠原 典彦
	接遇マナー基礎研修	健診事務課	伊藤 富美
	接遇マナー基礎研修	健診事務課	松原佐奈江
	I SO 27017:2015 解説コース	健診センター事務長	笠原 典彦
	第89回日本産業衛生学会	健診医務課	原田 雅子
	第89回日本産業衛生学会	健診医務課	阿部 幸洋
6月	人間ドック健診情報管理指導士研修	健康支援課	荒波 淑子
	第61回日本透析医学会	健診医務課	芹澤 洋輔
	健康運動指導士 養成講習会	健康支援課	江藤 洋佑
	第23回日本産業精神保健学会	健診医務課	尼子 良久
	第23回日本産業精神保健学会	健診医務課	原田 雅子
	第23回日本産業精神保健学会	健診医務課	阿部 幸洋
	第31回関東連合産科婦人科学会	健診医務課	須床 和恵
	静岡県看護協会定時総会	健康支援課	花畑 弥生
7月	聖隷浜松健康診断センターのメンタルヘルス講演見学と交流	健康支援課	花畑 弥生
	聖隷浜松健康診断センターのメンタルヘルス講演見学と交流	健康支援課	小野 智美
	聖隷福祉事業団臨床検査部門合同役職者研修	健診検査課	山岸 薫
	聖隷福祉事業団臨床検査部門合同役職者研修	健診検査課	松本 真紀
	日本乳癌検診学会第2回総合判定講習会	健診医務課	谷脇 貴博
	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会	健診検査課	松本 真紀
	第57回日本人間ドック学会学術大会	健診医務課	芹澤 洋輔
	第57回日本人間ドック学会学術大会	健診医務課	阿部 幸洋
	第57回日本人間ドック学会学術大会	健診医務課	菊池 保治
	第57回日本人間ドック学会学術大会	健診センター事務長	笠原 典彦
	第57回日本人間ドック学会学術大会	健康支援課	花畑 弥生
	第57回日本人間ドック学会学術大会	健康支援課	高木 順子
	第57回日本人間ドック学会学術大会	健康支援課	井出 元子
	第57回日本人間ドック学会学術大会	健診事務課	伊藤 剛
	第43回認定医・専門医研修会	健診医務課	原田 雅子
第43回認定医・専門医研修会	健診医務課	阿部 幸洋	
8月	日本労働安全衛生コンサルタント会	健診医務課	阿部 幸洋
	臨地実習説明会	健康支援課	土屋明日香
	臨地実習説明会	健康支援課	内山 美枝
	第11回肺がんCT検診認定医師更新講習会	健診医務課	谷脇 貴博
9月	第1回放射線部門役職者研修	健診放射線課	坪内 秀生
	胃がんX線検診技術部門B検定試験	健診放射線課	坪内 秀生
	第23回日本門脈圧亢進症学会総会	健診医務課	菊池 保治
	第16回首都圏ラボラトリーフォーラム	健診検査課	富田 彩水

	研修・学会名	部署	参加者
9月	第16回首都圏ラボラトリーフォーラム	健診検査課	富口 結貴
	採決業務に関する講習会	健診検査課	渥美 友貴
	がん検診認定医試験	健診医務課	谷脇 貴博
	第64回日本心臓病学会	健診医務課	原田 雅子
	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会	健診検査課	山岸 薫
	日本超音波医学会第37回中部地方会	健診検査課	澤田 香菜
10月	腹部エコーハンズオンセミナー	健診検査課	坂本 光
	保健指導実施施設認定調査説明会	健康支援課	佐藤 典子
	第75回全国産業安全衛生大会	健診医務課	原田 雅子
11月	JDDW2016	健診医務課	菊池 保治
	日本婦人科がん検診学会	健診医務課	須床 和恵
	日本産業看護学会	健康支援課	花畑 弥生
	日本産業看護学会	健康支援課	大竹 薫
	日本産業看護学会	健康支援課	佐藤 典子
	日本産業看護学会	健康支援課	高木 順子
	日本産業看護学会	健康支援課	小野 史枝
	日本産業看護学会	健康支援課	諏訪 良子
	日本産業看護学会	健康支援課	小野 智美
	日本超音波医学会超音波診断講習会	健診検査課	松本 真紀
	日本超音波医学会超音波診断講習会	健診検査課	吉村香名子
	日本超音波医学会超音波診断講習会	健診検査課	辻村 裕美
12月	クレーム対応研修	健康支援課	花畑 弥生
	クレーム対応研修	健康支援課	大竹 薫
	クレーム対応研修	健康支援課	佐藤 典子
	クレーム対応研修	健康支援課	高木 順子
	クレーム対応研修	健康支援課	小野 史枝
	労働衛生機関職員研修会基礎コース	健診事務課	岩瀬 雅美
	ウーマンヘルスフォーラム 2016 静岡	健康支援課	大竹 薫
	ウーマンヘルスフォーラム 2016 静岡	健康支援課	高木 順子
1月	ウーマンヘルスフォーラム 2016 静岡	健康支援課	小野 史枝
	ストレスチェック面接指導研修会 I・II (医師)	健診医務課	阿部 幸洋
2月	第10回日本がん検診・診断学会習熟講習会	健診医務課	谷脇 貴博
	ストレスチェック渉外担当者研修会	健診事務課	青塚 春香
	第43回マンモグラフィ読影更新講習会	健診医務課	谷脇 貴博
	特殊健康診断研修会	健診事務課	大館 京子
	特殊健康診断研修会	健診事務課	勝亦 拓也

4. 第57回 日本人間ドック学会学術大会発表抄録

●リレーションシップマーケティング強化のための顧客情報ファイルの作成

事務課 伊藤 剛

【目的】

経営にとって、新規顧客の創造と既存顧客を維持することは重要である。新規顧客の創造は収入増の大きな役割であるが、既存顧客を維持することは、安定的な経営基盤の構築には大きな意味を持っている。既存顧客を維持するためには、リレーションシップマーケティング強化が必要になります。その第一歩として課内の意識統一、情報共有を図るために顧客情報ファイルを作成する。

【方法】

リレーションシップマーケティングは、企業と顧客との間に築かれる関係性に着目し、顧客との継続的で長期的な取引関係の構築と維持を目指して展開する方法である。顧客情報ファイルを作成し、健保、企業の関係性取引実績等を明確にし、課内の意識統一、情報共有ができる営業活動のサポートのツールとする。

【結果】

健保、事業所との関連性や営業の情報共有が顧客情報ファイルを使用することによって、顧客との経年的なやり取りや、未決事項の把握ができ、迅速な問題解決に繋がりました。また顧客にとって何が満足で維持してもらいたいこと担当者とのFACE to FACEの関係づくりにも役立ちました。

【考察】

顧客より一時的な売り上げを重ねていくよりも、満足していただく顧客を増やし、満足した顧客からの継続的な取引を行っていくことが安定経営には大切だと思います。今後は、顧客情報ファイルを元にして、健保、企業の連携担当制も視野に入れてリレーションシップマーケティングの更なる強化を図ってまいります。新規の顧客に対してもリレーションシップマーケティングを強化することで多くの「聖隷」ファンを増やし、「聖隷ブランド」を高めていけるように努力してまいります。

●健診における身体の不自由な受診者対応の検討 ～より安全なサービスを提供するために～

健康支援課 井出 元子

【緒言】

高齢化社会へ変化していくにつれ当施設の健診者総数における高齢者の割合も増加している。身体の不自由な受診者や高齢者に会ったとき、個人に合った対応が必要なことを感じた。身体の不自由な受診者が安全に健診を受けるために施設設備の充実やバリアフリー化も大切であるが即座に解決できない。そこで、職員意識調査と申し送り用紙作成の一連の流れから、身体の不自由な受診者対応の現状を明らかにし、職員が共通認識を持って提供する安全な健診サービスについて検討した。

【方法】

当施設職員123名を対象に職員意識調査を行い、その結果から身体の不自由な受診者についての申し送り用紙を作成した。その後、受診者5名に対し申し送り用紙を使用し、その受診者に関わった職員35名を対象に評価のための質問紙調査を行なった。

【結果・考察】

1. 現在当施設で運用されている障害者についての2つのルールを知っている者は39%だった。すでにある仕組みも職員間の認知が低ければ有効的に活かされず、安全への効果を期待することもできないため、現在ある運用は周知徹底すべきである。
2. 身体の不自由な受診者と関わって困ったことがあった者は66%おり、どの場面で困ったかについては「検査」が最も多く、どのように困ったかについては「通常より時間がかかってしまった」が最も多かった。身体の不自由な受診者を受け入れる前に情報を得て共有し、必要な準備をしておくことで安全性を保った時間短縮ができるのではないかと考えた。
3. 申し送り用紙が実際の運用にあってもよいと思うと答えた者は69%、よいと思わない0%、どちらともいえない31%であった。身体の不自由な受診者についての申し送り用紙は情報収集や安全に健診を行なう上で役立つことが示唆されたが運用に関してはさらなる検討が必要である。

●コンセプトスキル向上から始める経営を担う人材育成 事務長 笠原 典彦

【目的】

保健事業の経営は、経済活動を行っている企業との関わりの中で行われている。経営者の多くは、現場マネージャーの延長線上でその役割を担っている。経営者としてのスキルは、現場マネージャースキルの積み上げで満たすことができるのか？経営に必要なスキルとは何であるのか？現場でのOJTの中で経営を担う人材育成は十分にできるのか？経営学的観点からカツの理論、センゲの最強組織の法則に基づいて経営を担う人材育成を行う。

【方法】

カツの理論に基づき、マネージャーの階層別に必要なスキル分類を行った。経営者に最も必要とされるコンセプトスキルの教育にあまり重点が置かれていない事実があり、その欠落を補うことが経営を担う人材育成には必要不可欠であると判断した。研修は、センゲの最強組織の法則の5つの基本要素を取り入れ、個人と集団での継続学習を行う。最終学習では、効果判定の判断能力のテストを行い、人材育成の継続に繋げる。

【結果】

数回の学習（Off-JT）と日常業務のOJTを通じて、自らが気付き、変わる為のトリガーを引く習慣を身につける事ができた。また、足りなかったスキルを補う事により、システム思考の習得によるQCD評価の高コストパフォーマンスにも繋げる事ができ、組織としての学習障害を乗り越えることができた。

【考察】

初めての取り組みではあったが、組織としては大きなステップになる予感を持っている。最強組織への第一歩を踏み出した。10年先、20年先に組織風土として、優秀な人材が経営を担うことができると確信している。

5. 健康増進講演メニュー

	テーマ	内容
生活習慣病関連	生活習慣病改善について	生活習慣病予防のために必要なことをポイントをもってお話しします
	メタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームの発生メカニズムと予防について
	骨粗しょう症の予防について	骨粗しょう症についてと予防方法について提案します
	禁煙にチャレンジしてみませんか	たばこの害について説明し、楽に禁煙できる方法を説明します
	動脈硬化の予防	動脈硬化の進み方、予防する為の生活習慣について解説します
	健診結果の活かし方	健診結果から 各検査項目の意義と生活改善について解説します
運動関連	手軽にできるストレッチ	自宅で職場でバス・電車の中で、いつでもどこでも簡単にできるストレッチの紹介
	腰痛・肩こり解消講座	肩こり・腰痛のメカニズムを知り、解消の為の方法を実践します
	職場でできる運動	仕事の合間のちょっとした すき間時間にできる運動の紹介
	チェアーエクササイズ	膝・足に負担をかけずにイスに座って楽しく運動し、筋力アップにつなげます
	簡単な運動とストレッチ	年配の方向けの運動を安全に楽しく行ないます
	適度な運動の大切さ	気軽にできる運動の大切さを学びます
	自分にあったウォーキング	音楽に合わせて歩き、自分のペースを覚えましょう
	ダンベル体操	ダンベルを使った気軽にできる体操
	脂肪燃焼ウォーキング	脂肪が燃焼できる強度のウォーキングペースを覚えましょう
栄養関連	生活習慣病予防のための食事について	食事の基本について 1日の適正な食事量について6つの基礎食品群の表を利用して
	生活習慣病予防のための食事について	食事の基本について 1日の適正な食事量について食事バランスガイドを利用して
	生活習慣病予防のための食事について (糖尿病)	糖尿病を予防する食事について
	生活習慣病予防のための食事について (脂質異常症)	脂質異常症を予防する食事について
	生活習慣病予防のための食事について (脂肪肝)	食事の傾向を把握し、脂肪肝にならないための食事紹介
	生活習慣病予防のための食事について (肥満)	肥満を予防する食事について
	生活習慣病予防のための食事について (高血圧)	高血圧を予防する食事について
	生活習慣病予防のための食事について (高尿酸血症)	高尿酸血症を予防する食事について
	ご家族の食生活について	生活習慣病予防の為の食事について 各年代の食事のポイントをお話しします
	あなたの食事は大丈夫？	自分の食生活を振り返り、望ましい食事のあり方を学びます
	メタボリックシンドロームの予防・解消	メタボリックシンドロームの発生メカニズムと食事を中心とした予防についてお話しします
	メンタルヘルス・ヘルス関連	メンタルヘルスの基礎知識
うつ病について		うつ病のメカニズム・予防を説明、またうつ病の方への接し方を学びます
リラクゼーション ～呼吸法・筋弛緩法～		なかなかリラックスできない自分を発見し、呼吸法・筋弛緩法を体験してもらいます
コミュニケーションスキル ～交流分析～		自分自身の行動パターン・性格傾向を把握してみましよう
休養と睡眠について		休養の必要性についてお話しします
その他	ボケ予防のための頭の体操	日常生活に簡単に取り入れられる 脳の活性化する体操を実践します

6. 2016 年度 健康増進講演 活動実績

開催日	講演内容	場所	担当者(講師)
6月18日	生活習慣病について ～健診結果そのままにいませんか?～	静岡県総合健康センター	保健師 小野 智美
7月21日	メンタルヘルス講習 「コミュニケーション」	県立特別支援学校 川奈分校	保健師 諏訪 良子
7月28日	メンタルヘルス研修	沼津プラザヴェルデ	保健師 小野 智美
8月3日	ライフプラン講習会心と身体の健康管理	沼津プラザヴェルデ	保健師 植松 未菜
8月6日	第11回市民公開講座 「頭を使って身体を動かそう」	沼津プラザヴェルデ	健康運動指導士 内山 美枝
			健康運動指導士 江藤 洋佑
8月19日	ライフプラン講習会心と身体の健康管理	沼津プラザヴェルデ	保健師 植松 未菜
8月23日	メンタルヘルス講習 「教職員のストレスの特徴と対処法」	県立伊豆総合高校	保健師 高木 順子
8月31日	より良い食生活を目指そう	県立東部特別支援学校 伊豆松崎分校	管理栄養士 佐藤 典子
10月12日	簡単タオル体操	県立下田高等学校	健康運動指導士 内山 美枝
11月14日	メンタルヘルス講習 「職場におけるメンタルヘルス」	在日米海兵隊 キャンプ富士	保健師 平方 教子
11月15日	メンタルヘルス講習 「職場におけるメンタルヘルス」	在日米海兵隊 キャンプ富士	保健師 平方 教子
12月15日	腰痛予防講座	富士特別支援学校	健康運動指導士 内山 美枝
12月19日	腰痛予防講座	御殿場特別支援学校	健康運動指導士 内山 美枝
1月19日	腰痛予防講座	田方特別支援学校	健康運動指導士 江藤 洋佑
			健康運動指導士 内山 美枝
2月24日	ピラティス	県立稲取高等学校	健康運動指導士 内山 美枝
			健康運動指導士 江藤 洋佑

2016 年度を振り返って

2016 年度も皆様方のおかげで「事業年報」を発刊することができました。

2016 年度は、予てよりの懸案事項をクリアすることができた有意義な 1 年でした。

聖隷保健事業グループのどこの施設でご受診されても健診結果が経年で把握できるようにしたいというご要望にお答えするために、聖隷保健事業部とサーバ共同利用によるデータの一元管理を開始いたしました。これにより聖隷保健事業の顧客 ID の統一、データヘルス活用への一歩を踏み出すことができました。

施設内においては、4 月に大規模改修を行い

- ① 顧客視線を意識した舞台裏を見せない区域分け
- ② 保健指導強化と効率化のための 3 階配置再編成
- ③ 運動指導の充実
- ④ 胃カメラ増と午後活用

のために内視鏡増室を強化いたしました。

施設外においては、JKA 補助事業により胃胸部併用デジタル検診車を 1 台増車し、新規事業所での出張検診も開始いたしました。

新しく始まったストレスチェックも 26 社、6,865 件を行うことができました。

各団体様・各事業所様及び地域の皆様方のご協力により、受診者件数で昨年実績に対して約 13,000 件増、医業収入におきましても昨年実績を約 3% 上回る結果となり、皆様方に深く感謝しております。

2 月には、経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人ホワイト 500 の認定も法人として取得し「地域・企業・健保の皆様の健康経営のパートナー」を目指してまいります。

今後も、ご利用者様のご要望にお応えできる体制を作り、健診の精度及びサービスの向上に職員一同努めて参りたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

聖隷沼津健康診断センター
事務長 笠原 典彦

2016（平成28）年度
聖隷沼津健康診断センター 事業年報
第10号

発行 2018年3月

〒410-8580 静岡県沼津市本字下一丁田 895-1

TEL 055 (962) 9882 FAX 055 (952) 1019

ホームページ <http://www.seirei.or.jp/numazu-kenshin/>

発行者	矢部 雅己
編集責任	認定更新・年報委員会
印刷	東邦印刷包装株式会社

「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」
聖書の教え「隣人愛」が私たちの精神です



The Fuyo Foundation SEIREI NUMAZU
Health Evaluation And Promotion Center

Love your neighbor as yourself.

